

患者さんパンフレット

四国がんセンター
形成外科



私たち医療スタッフは

- I 入院や手術に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします

- II 手術後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようにお手伝いします



形成外科手術（全身麻酔）を 受けられる方へ

_____さま

主治医

受持ち看護師

2018年11月27日 作成

2025年12月3日 改訂

手術までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（原則、入院中は他の病院の受診ができないため、余裕をもってお持ちください）
- **お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください**
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 爪の装飾（マニキュア、ペディキュア、マグネットネイル、ジェルネイル、スカルプネイルなど）は入院前に落とし、爪は短く切っておいてください
- まつげのエクステンションをされている方は、お知らせください

＜以下のものは病院で貸し出し、購入もできます＞

- 衣類（パジャマタイプ/ゆかたタイプ）
- バスタオル 1枚
- フェイスタオル 1枚
- ティッシュペーパー 1箱
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み

「CSセットのご案内」冊子を
参考にしてください

＜ご自宅からお持ちください＞

- 前開きの上着
- ビニール袋 3枚
（靴、ねまき、下着などを入れるために使います）

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください



※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください

医療品ショップ くろ〜ば〜

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8:30~17:00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



手術前の歯科受診について



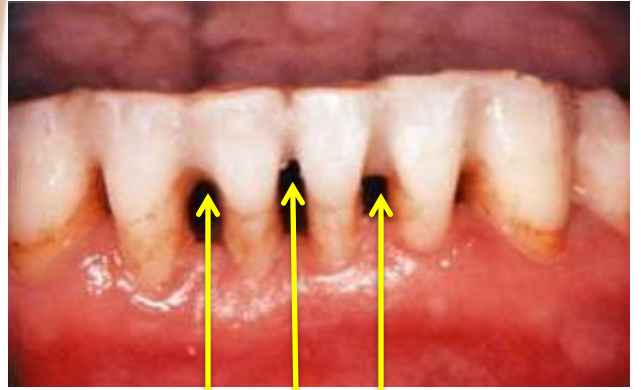
手術時、手術後のトラブルを防ぐために歯科受診が必要です

1. ぐらつきのある歯への対応

→全身麻酔の際、気管にチューブを入れるときに、歯が欠けたり抜けたりすることを予防します



マウスピース作製

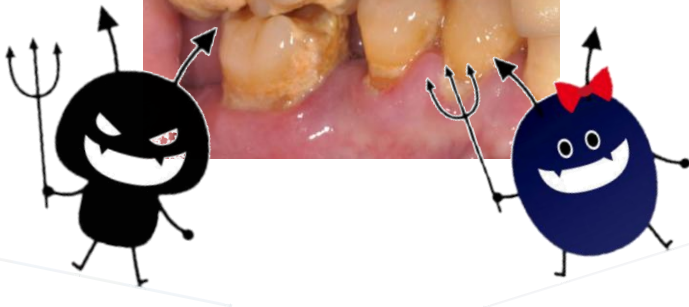


歯と歯の間を接着固定

2. 口の中の清掃（歯石取り、入れ歯のチェック）

→ばい菌が体に悪影響を及ぼすリスクを避けることができます

手入れの行き届いていない口の中



手入れの行き届いていない口の中は
ばい菌でいっぱいです

手術後のトラブルを防ぐためにも「かかりつけ歯科医院」をもつようにしましょう

これまで歯科受診をされていない方は、ご相談ください

手術前の機能訓練

体を動かすことにより、痰を出しやすく血液循環を良くして傷の治りを早めます
また、腸の動きを良くして、ガスを出すなど回復を早めることができます

●深呼吸

- ①仰向けに寝て全身の力を抜きます
- ②鼻から大きく息を吸います
- ③口からゆっくりと息を吐き出します
吸う息より吐く息の方を長めにしましょう



●痰の出し方

- ①傷口を手で押さえる、あるいは脇をしめて、
小さな咳を2～3回して、徐々に痰を
上に上げていきます
- ②最後に少し大きな咳をすると楽に痰を出せます

●うがい

うがいをすることにより、口の中を清潔にしましょう
痰も出しやすくなります

- ①寝たままで顔を横に向けて、うがいをします
- ②静かに舌で流しだすようなイメージで水を吐き出します
このとき飲み込まないように注意しましょう

●体の動かし方

麻酔がさめたら、横向きになってみましょう

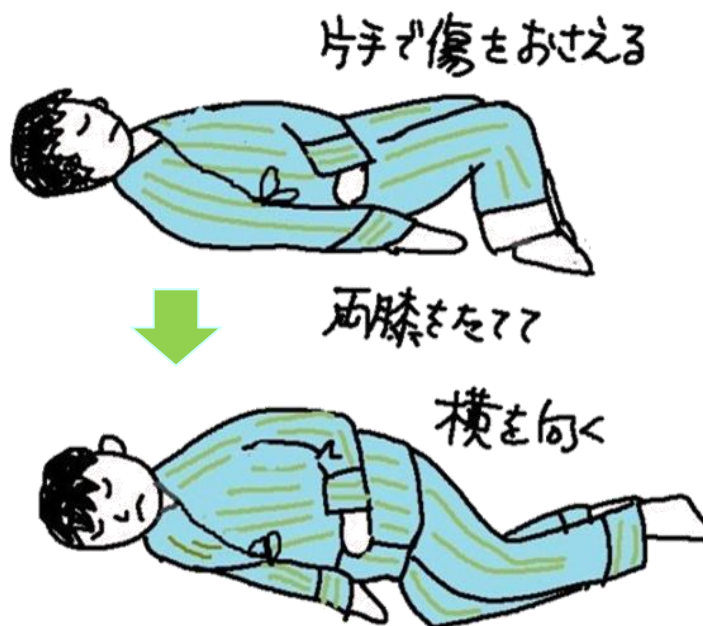
手術後に体を動かすことは、痛みをともないつらいと思いますが

- (1) 痰を出しやすくする
- (2) 血液循環を良くして傷の治りを早める
- (3) 腸の動きを良くしてガスを出す

など、回復を早めることができますので、積極的にがんばりましょう

—横の向き方—

- ①傷口を片手で押さえ、両膝を立ててお腹の筋肉をゆるめます
- ②腰を浮かせて体を向ける反対側へ腰の位置をずらします
- ③ゆっくりと体を横に向けます



—起き上がり方—

- ①ベッドのリモコンを操作して、ゆっくり90度まで起こします
- ②足をベッドから下ろします
- ③手をベッドについて、ゆっくりと体を起こします

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院は約10日間の予定です

手術後の回復は個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますのでご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院日～2日前 月 日～ 月 日



今日の目標

- ・入院生活、手術について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

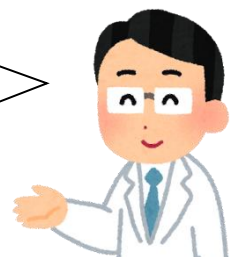
11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 <ul style="list-style-type: none">・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
12:00	昼食	<ul style="list-style-type: none">・検温、血圧測定、身体測定・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り・禁煙の確認・医師指示がある場合：血液検査、尿検査、歯科受診・手術の説明を受けていない方は医師より説明があります説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをして看護師にお渡してください・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら、遠慮なくお尋ねください
18:00	夕食	<p><お薬></p> <ul style="list-style-type: none">・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします <p><食事></p> <ul style="list-style-type: none">・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります
21:30	消灯	

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・入院生活や手術に対する不安がないように支援します
- ・安心して入院生活を送られるように支援します
- ・手術の準備をすすめられるように支援します





今日の目標

- 手術について医療スタッフの説明が理解できる
- 手術の準備をすすめることができる
- 不安な気持ちを医療スタッフに伝えることができる

<時間>	<予定>	
6:00	起床	<活動> • 活動に制限はありません
7:30	朝食	<手術前の準備> • 手術前の機能訓練 • 手術に必要な物品の確認
10:00	検温 血圧測定	• シャワー浴をしましょう
12:00	昼食	手術室の看護師から説明があります
18:00	夕食	• 服用している薬がある場合は看護師が薬を預かります 手術当日に服用する薬がある場合は、看護師よりお知らせします
21:30	消灯	• 寝れない場合は安定剤を服用することができます 21時以降は、絶食です

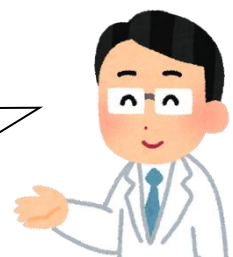
★水分について★
翌朝6時30分まで
水やお茶のみ、飲むことができます

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 手術に対する不安がないように支援します
- 手術の準備をすすめられるように支援します



ご家族の方へ

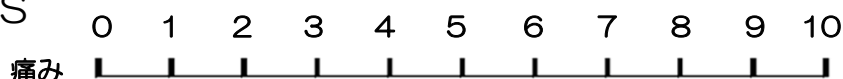
手術当日は（ ）時までに病棟にお越しください
手術中は、必ず院内でお待ちください（2階フロア・4階家族控え室など）
必ず所在を明らかにし、連絡が取れるようお願いいたします
手術後、主治医から手術の結果について説明があります
他の患者さんの手術の関係で手術後すぐに説明できない場合は、お待ち
いただくことをご了承ください

病室で付き添いを希望される場合には、医師の許可が必要となりますので
看護師にお申し出ください
布団のレンタルを希望される場合は、2階 医療品ショップ「くろ〜ば〜」
でお尋ねください

手術後の痛みについて

手術後の痛みについては、痛みの程度を看護師が数字でお聞きします（NRS）
数字での表現が難しいときは、フェイススケールでお答えください

1) NRS



全く痛くない

これ以上耐えられないほど
ひどい痛み

2) フェイススケール



0

1

2

3

4

5

痛みがない

少しか
痛い

もう少し
痛い

もっと
痛い

かなり
痛い

もっとも
痛い



手術後の目標

- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる

手術後は、時間を決めて以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後30分、1時間、2時間、3時間、6時間、18時、21時、24時に行います（これ以外にも必要なときに測定します）

酸素吸入・深呼吸

- ・麻酔が完全に覚めるのを助け、手術後の呼吸状態を安定に保つために、マスクを使用し酸素吸入をします
- ・目が覚めたら大きく深呼吸をしましょう

うがい

- ・ベッドに横になったまま行います（看護師がお手伝いします）

活動

- ・ベッドの頭側を少し上げます
- ・2時間後、ベッド上で寝返りをうつことができます
体を横向きにするときは看護師がお手伝いします
- ・6時間後、特に問題がなければベッド上で座ることができます
- ・足の屈伸や膝立、腕の運動は痛みがない程度に自分で行いましょう

手術後の傷

- ・傷口はガーゼやフィルム剤で保護しています

点滴

- ・6時間後までは飲んだり食べたりできないため、点滴があります

尿の管

- ・手術中に尿をとる管が入ります
翌日の10時頃には抜けます

痛み

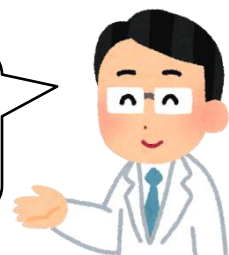
- ・痛みが強い場合は追加で痛み止めを使います
- ・痛みがある場合は看護師にお知らせください

飲水

- ・6時間後に水分摂取ができます（看護師がお手伝いします）

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます





今日の目標

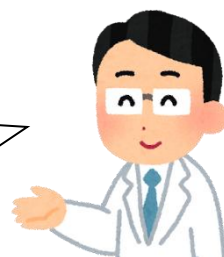
- ・痛みを我慢せず、医療スタッフに伝えることができる
- ・看護師と一緒に病棟内を歩くことができる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定 温かいタオルをお持ちします ベッドに座って洗面・歯磨きをしましょう
7:30	朝食（ベッドに座って食べましょう） 医師の指示で内服薬再開になります 鎮痛剤・胃薬・抗生剤の服用が始まります （5日間、朝昼夕食後と眠前に服用しましょう）
9:00	回診
10:00	検温、血圧測定 医師の処置があります 状態が落ち着いていれば歩いてみましょう （最初に歩くときは看護師と一緒にいきます） 尿の管を抜きます 体を拭きます 着替え（下着・パジャマ）を準備してください
12:00	昼食
14:00	検温、血圧測定
18:00	夕食
19:00	検温、血圧測定
21:30	消灯

朝から食事が
はじまります

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます





今日の目標

- ・痛みがあれば知らせることができる
- ・シャワー浴ができる

<時間>

<予定>

6:00	起床
7:30	朝食
9:00	回診
10:00	検温、血圧測定 医師の処置があります
12:00	昼食
18:00	夕食
21:30	消灯

傷のガーゼが外れたら
シャワー浴ができます
看護師がお手伝いします

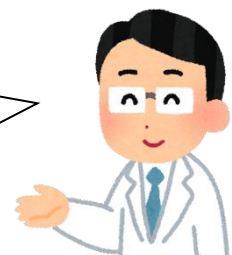


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- ・手術後の合併症の早期発見に努めます





今日の目標

- 日常生活の注意点について理解できる
- 退院後の日常生活で不安なことを医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00	起床
7:30	朝食
9:00	回診
10:00	検温、血圧測定 医師の処置があります
12:00	昼食 シャワー浴をしましょう
18:00	夕食
21:30	消灯

退院後の日常生活について
説明します

気になることは
遠慮なく看護師に
お尋ねください

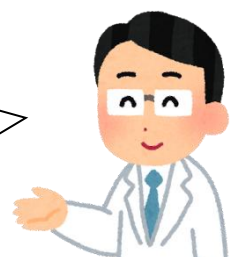


MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活に不安がないように支援します





今日の目標

- ・日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

回診

お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようにご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階でお支払ください

次回外来受診は

月 日 () 時の予定です

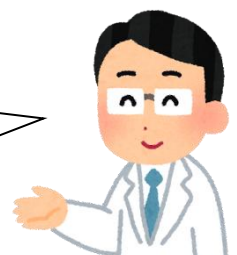
* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

MEMO

気になることや症状など書き留めておきましょう

医療スタッフの目標

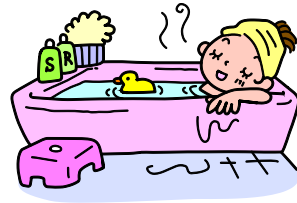
- ・退院後の日常生活に不安がないように支援します



退院後の日常生活について

●入浴

体を清潔に保つことが大切です
特に制限はありません
傷は石けんを泡立てて優しく洗いましょう



●食事

栄養のバランスに気をつけましょう
原則的には食事の内容に制限はありません



●排泄

規則的な排便習慣をつけることが大切です
朝食後、トイレに行く習慣をつけましょう
軽い運動や水分をとるように心がけましょう

●活動

規則正しい生活をして、適度な運動をしましょう
まずは軽い散歩や買い物から始めてみましょう
徐々に活動量を増やしていき、疲れないように調節しましょう
長時間の自転車やバイク・自動車の運転は十分に気をつけ、徐々に慣らしていきましょう

●お薬

薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります
病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています
ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

●その他

定期受診は必ず受けるようにしましょう



- 退院した時に比べて傷が赤くなったとき
- 傷に腫れや痛みが出現したとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



形成外科手術（全身麻酔）を受けられる方へ